

平成26年度 第7回大阪湾生き物一斉調査について

1. 調査概要

平成26年度は、5月31日を中心に、大阪湾沿岸域の21地域と大阪湾内（スナメリ調査）において、1,244名が参加して、第7回大阪湾生き物一斉調査を実施しました。調査地域及び担当団体等は図1に示すとおりです。

なお、地域の番号はこれまでの調査と整合させずに、通し番号としています。

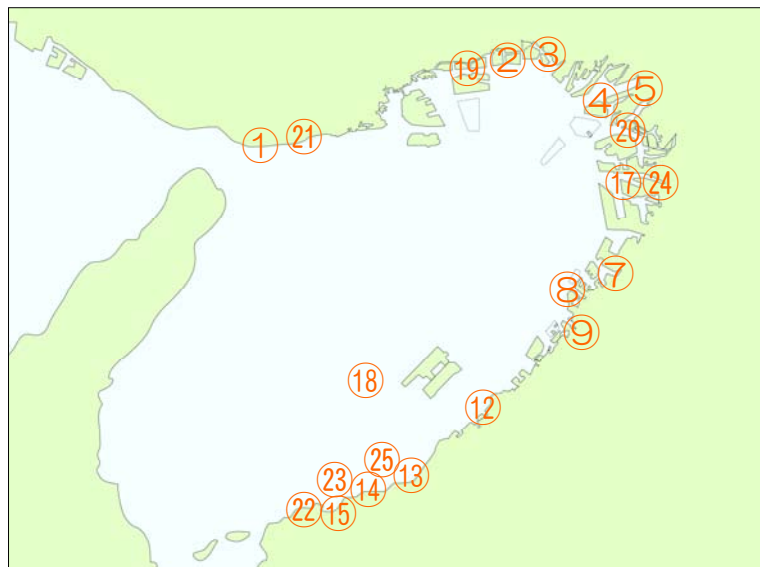


図1 平成26年度の調査箇所一覧

【兵庫県内】

調査地点	担当団体
1 アジュール舞子	須磨海浜水族園ボランティア
21 須磨海岸	須磨海岸生物調査研究所[6/15]
19 住吉川河口	豊かな森川海を育てる会[5/17]
2 香櫨園浜	西宮市貝類館
3 甲子園浜海浜公園	NPO法人 海浜の自然環境を守る会

【大阪府内】

調査地点	担当団体
4 矢倉海岸	西淀自然文化協会[6/7]
5 十三干潟（淀川）	（公社）大阪自然環境保全協会（淀川自然観察会）[6/1]
20 天保山	海遊館[6/7]
17 堺2区生物共生型護岸（友海ビーチ）	（公社）大阪自然環境保全協会（堺2区自然観察会） NPO法人 釣り文化協会 [5/18, 6/14]
24 堺浜自然再生ふれあいビーチ	（公社）大阪自然環境保全協会（堺2区自然観察会）[6/14]
7 高師浜	浜寺公園自然の会[6/1]
8 大津川河口（左岸）	きしわだ自然資料館
9 阪南2区造成干潟	きしわだ自然資料館[6/1]

【大阪府内】

調査地点	担当団体
10 近木川河口	NPO法人 シニア自然大学校 森と海の自然科[6/12] 貝塚市立自然遊学館
12 榎井川河口・岡田浦海岸	男里川干潟を守る会
13 樽井海岸・男里川河口干潟	男里川干潟を守る会、 きしわだ自然資料館[6/12]
25 尾崎海岸	（公社）大阪自然環境保全協会（海のふしぎ観察会）[6/15]
14 せんなん里海公園	里海くらぶ連絡協議会
23 長松海岸	なにわ こどもエコクラブ[6/1] （公社）大阪自然環境保全協会（自然環境市民大学）[6/11]
15 東川（落合川）河口	（公社）大阪自然環境保全協会（海のふしぎ観察会）[6/1]
22 豊国崎	（公社）大阪自然環境保全協会（海のふしぎ観察会）[6/1]
18 大阪湾広域[スナメリ調査]	海遊館、大阪ECO動物海洋専門学校 [5/23, 5/31]

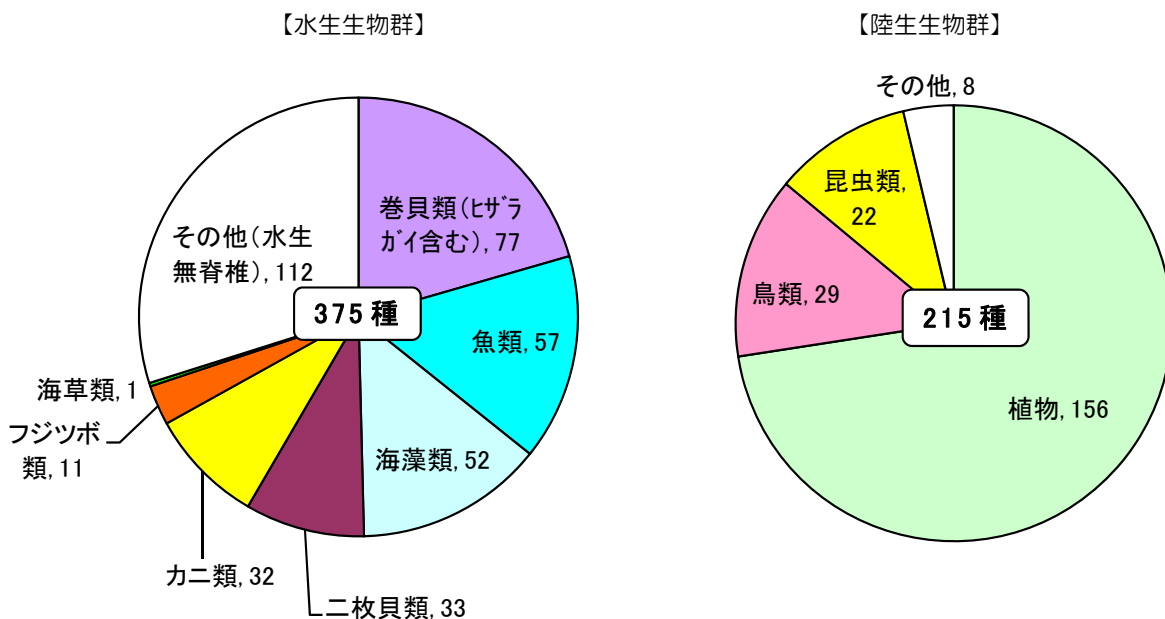
2. 出現種

本年度の大阪湾生き物一斉調査によって確認された出現種を表 1 に示しました。

種名まで判別した種類は 590 種（うち、リスト掲載種 41 種）でした。

水生生物群では、海藻類及び海草類が 53 種、動物は貝類が 110 種（巻貝 77 種、二枚貝 33 種）、魚類が 57 種、カニ類が 32 種等でした。また、陸生生物群では、鳥類が 29 種、陸上植物が 156 種等でした。

出現種のうち特筆すべき種として、兵庫県、大阪府、水産庁、WWF、干潟の絶滅危惧動物図鑑の各 RDB と環境省のレッドリスト（2012 年）に掲載されている種に該当するものを付表に示しました。全体の貴重種としては 74 種類が該当しました。このうち、海藻類はスジアオノリ、タニコケモドキ等の 3 種、動物では、貝類がイボウミナ、ウミナ、クチキレガイ、フトヘナタリ、ミヤコドリガイ、ヨコスジギリガイ等の 34 種、多毛類がコケゴカイ等の 2（属入れて 3）種、カニ類はハクセンシオマネキ、ヒメアシハラガニ等の 16 種、魚類はウキゴリ、ウナギ等の 5 種、その他はテッポウエビ、ヒモイカリナマコ等の 7 種等でした。



注) 1. 数字は種数を示す。

2. 陸生生物群の「その他」は爬虫類、両生無脊椎類、陸生無脊椎動物を含み、カメ類等若干の水生生物を含む。

図2 平成 26 年度出現種の分類群別種数

表1(1) 出現種一覧(平成26年度)

分類群		No.	和名	分類群	No.	和名
海藻類	緑藻類	1	アオサ科	植物(続き)	16	イヌホオズキ
		2	アオリ属		17	イヌムギ
		3	アオミドロ属		18	ウシオハナツメクサ
		4	アナアオサ		19	ウチワサボテン
		5	シオグサ属		20	ウバメガシ
		6	ジュズモ属		21	ウマゴヤシ
		7	スジアオリ		22	ウラギク
		8	ヒメアオリ		23	エソノギシギシ
		9	ヒメアオリ属		24	エノキ
		10	ヒラアオリ		25	オオアレチノギク
		11	ボウアオリ		26	オオオナモミ
		12	ボタンアオサ		27	オオジシバリ
		13	ミル		28	オオニワゼキショウ
		14	緑藻類		29	オオマツヨイグサ
	褐藻類	15	アカモク		30	オカヒジキ
		16	アミジグサ		31	オキジムシロ
		17	イシゲ		32	オッタチカタハミ
		18	ウミウチワ		33	オニグルミ
		19	ウミトラノオ		34	オニドコロ
		20	タマハハキモク		35	オニヤブソテツ
		21	ネバリモ		36	オランダミミナグサ
		22	ヒジキ		37	ガガイモ
		23	フクロノリ		38	カスマグサ
		24	ワカメ		39	カタハミ
		25	褐藻類		40	カナムグラ
	紅藻類	26	アマノリ属		41	カモジグサ
		27	インダンツウ		42	カモミール
		28	イトグサ属		43	カヤツリグサ属
		29	イワノカワ科		44	カラスノエンドウ
		30	ウチワツノマタ		45	カラスムギ
		31	エチゴカニノテ		46	ギシギシ
		32	オオバツノマタ		47	キツタ
		33	オキツノリ		48	キバナゼキショウ
		34	オゴノリ		49	ギョウギシバ
		35	オバクサ		50	キョウチクトウ
		36	カイノリ		51	キリ
		37	カニノテ属		52	キリンソウ
		38	カバノリ		53	クコ
		39	キョウノヒモ		54	クサイ
		40	クロソソ		55	クズ
		41	ケイギス		56	クスダマツメクサ
		42	コブソソ		57	クスノキ
		43	コメノリ		58	クロマツ
		44	シキンノリ		59	クワ
		45	シラモ		60	ケチョウセンアサガオ
		46	ススカケベニ		61	ゴウシュウケアリタソウ
		47	タオヤギソウ		62	コウボウシバ
		48	タニコケモドキ		63	コウボウムギ
		49	ツノマタ		64	コゴメバオトギリ
		50	ツノマタ属		65	コセンダングサ
		51	ツルシラモ		66	コバンソウ
		52	ツルツル		67	コマツヨイグサ
		53	ニクムカデ		68	コマツブツメクサ
		54	ヒメテングサ		69	サナエタデ
		55	ビロヒバ		70	シオクグ
		56	フクロフノリ		71	シバ
		57	フシツナギ		72	シャリンバイ
		58	フダラク		73	ジュズダマ
		59	ベニスナゴ		74	シロザ
		60	ベニマダラ科		75	シロツメクサ
		61	ホソアヤギヌ		76	シロバナシナガワハギ
		62	マクサ		77	ススキ
		63	マツノリ		78	スズメノエンドウ
		64	ムカデノリ		79	スズメノカタビラ
		65	ムカデノリ属		80	スズメノチャヒキ
		66	ヤレウスバノリ		81	セイタカハハコグサ
		67	ワツナギソウ		82	セイバンモロコシ
		68	無節サンゴモ類		83	セイヨウカラシナ
海草類	植物	1	アマモ		84	セイヨウタンポポ
		1	アオツツラフジ		85	セイヨウヒキヨモギ
		2	アカカタハミ		86	センダン
		3	アカツメクサ		87	ソメイヨシノ
		4	アキグミ		88	タケニグサ
		5	アキニレ		89	タデ
		6	アメリカナシカズラ		90	チガヤ
		7	アメリカフウロ		91	ツキミマンテマ
		8	アレチウリ		92	ツルナ
		9	アレチギシギシ		93	ツワブキ
		10	アレチスズビトハギ		94	テリハノイバラ
		11	アレチノギク			
		12	アレチハナガサ			
		13	イグサ属			
		14	イソギク			
		15	イタドリ			

水色セル: 種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。
 草色セル: 淡水産種で種数計数からは除いた。

表1(2) 出現種一覧(平成26年度)

分 類 群		No.	和 名	分 類 群		No.	和 名
植物(続き)		95	トウネズミモチ	貝類 (続き)	巻き貝類(続き)	20	イナザワハベガイ
		96	トクサ			21	イボウミナ
		97	ドクダミ			22	イボサンショウガイモドキ
		98	トゲチシャ			23	イボニシ
		99	トベラ			24	ウズラタマキビ属
		100	ナガエツルノゲイトウ			25	ウノアシガイ
		101	ナガバギシギシ			26	ウミウシ類(卵塊)
		102	ナギナタガヤ			27	ウミナメクジ
		103	ナヨクサフジ			28	ウミナ
		104	ナルトサウギク			29	ウミフクロウ
		105	ナンキンハゼ			30	エビスガイ
		106	ニシキギ			31	オオヘビガイ
		107	ニセアカシア			32	オーロラクチキレガイ
		108	ニワウルシ			33	オトメガサ
		109	ニワゼキショウ			34	カキウラクチキレモドキ
		110	ヌルデ			35	カスリアオガイ
		111	ネズミホソムギ			36	カラマツガイ
		112	ネズミムギ			37	カワグチツボ
		113	ノイバラ			38	カワザンショウガイ
		114	ノゲシ			39	キクノハナガイ
		115	ノミノツツリ			40	クサズリクチキレガイ
		116	ノラニンジン			41	クチキレガイ
		117	ハナヌカススキ			42	クビレクロツケガイ
		118	ハナハマセンブリ			43	クボガイ
		119	ハハコグサ			44	クリイロカワザンショウ属
		120	ハマウド			45	クロアワビ
		121	ハマエンドウ			46	クロシタナシウミウシ
		122	ハマオモト			47	クロツケガイ
		123	ハマゴウ			48	コウダカアオガイ
		124	ハマスゲ			49	コシダカガンガラ
		125	ハマダイコン			50	コビトウラウスガイ
		126	ハマツメクサ			51	コモレビコガモガイ
		127	ハマツルナ			52	サクラアオガイ
		128	ハマナス			53	サザエ
		129	ハマナデシコ			54	シボリガイ
		130	ハマニンニク			55	シマハマツツボ
		131	ハマビシ			56	シマメノウフネガイ
		132	ハマビルガオ			57	スガイ
		133	ハマボウ			58	スソカケガイ
		134	ハマボウフウ			59	タマキビガイ
		135	ハマボツス			60	チグサガイ
		136	ヒナギキョウ			61	ツメタガイ
		137	ヒメクマツツラ			62	ツメタガイ科(卵塊)
		138	ヒメコバンソウ			63	ドーリス科
		139	ヒメジョオン			64	ナギツボ
		140	ヒラカンサ			65	ナワメグルマ類
		141	ビロードモウズイカ			66	ネジガイ
		142	ヘラオオバコ			67	ヒナユキスズメ
		143	ホコガタアカザ			68	ヒメコザラ
		144	ホソムギ			69	ヒラドカワザンショウガイ
		145	マツバウンラン			70	フジタウミウシ科
		146	メメグンバイナズナ			71	ブドウガイ
		147	マンデマ			72	フトヘナタリ
		148	マンネングサ属			73	ヘコミツラガイ科
		149	ミチヤナギ			74	ベッコウガサガイ
		150	メドハギ			75	ホソウミナ
		151	メマツヨイグサ			76	ホソスジアオガイ
		152	メリケントキンソウ			77	マダラウミウシ
		153	モモ			78	マツバガイ
		154	ヤエムグラ			79	マルウスラタマキビガイ
		155	ヤノネボンテンカ			80	ミサカエクチキレ
		156	ヤマアワ			81	ミヤコドリガイ
		157	ユリ類			82	ムギガイ
		158	ヨシ			83	ムシロガイ科
		159	ヨモギ			84	ヤマトウミウシ
		160	ランタナ			85	ヤミヨキセワタ属
貝類	ヒザラガイ類	1	ウスヒザラガイ	86	ヨコイトカケギリ		
		2	ウスヒザラガイ科	87	ヨコシギリガイ		
		3	クサズリガイ	88	ヨメガカサガイ		
		4	ケハダヒザラガイ	89	レイシガイ		
		5	ハバガセ	90	アオカリガネエガイ		
		6	ヒザラガイ	91	アサリ		
		7	ヒメケハダヒザラガイ	92	イガイダマシ		
		8	ヤスリヒザラガイ	93	イタボガキ科		
	巻き貝類	9	アオガイ	94	イワガキ		
		10	アオガイ属	95	ウスカラシオツガイ		
		11	アカニシ	96	ウネナシトマヤガイ		
		12	アシヤガイ	97	カガミガイ		
		13	アマクサアメフラシ	98	カキ類		
		14	アメフラシ	99	カリガネエガイ		
		15	アラムシロガイ	100	キヌマトイガイ		
		16	アラレタマキビガイ				
		17	イシダタミガイ				
		18	イシマキガイ				
		19	イズミドリガイ				

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。
草色セル:淡水産種で種数計数からは除いた。

水色セル: 種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。
 草色セル: 淡水産種で種数計数からは除いた。

表1(3) 出現種一覧(平成26年度)

分類 群		No.	和 名
貝類 (続き)	二枚貝類(続き)	101	クチバガイ
		102	ケガキ
		103	コウロエンカワヒバリガイ
		104	サルボウガイ
		105	セミアサリ
		106	ソトオリガイ
		107	トマヤガイ
		108	ナミマガシワガイ
		109	ニッポンマメアゲマキガイ
		110	バカガイ
		111	ハナグモリガイ
		112	ヒメアサリ
		113	ヒメシラトリガイ
		114	ホトトギスガイ
		115	ホンビノスガイ
		116	マガキ
		117	マツカゼガイ
		118	マテガイ
		119	マルミミエガイ
		120	ミドリイガイ
		121	ミミエガイ
		122	ムラサキイガイ
		123	ヤマトシジミ
		124	ユウシオガイ
多毛類		1	Hydroïdes属
		2	Polydora属
		3	アシナガゴカイ
		4	ウズマキゴカイ科
		5	ウミケムシ
		6	ウロコムシ科
		7	エゾカサネカンザシゴカイ
		8	オノミチチロリ
		9	カワゴカイ属
		10	カンザシゴカイ科
		11	クモノアシツキ
		12	ケヤリムシ
		13	ゴカイ科
		14	コケゴカイ
		15	サシバゴカイ科
		16	サンハチウロコムシ
		17	タマシキゴカイ
		18	チロリ科
		19	ナデシコカンザシ
		20	フツウゴカイ
		21	マサゴゴカイ
		22	マダラウロコムシ
		23	ミズヒキゴカイ
		24	ミロクウロコムシ
		25	ヤチウロコムシ
		26	ヤッコカンザシ
		27	多毛類
ヨコエビ・ワレカラ類		1	Monocorophium属
		2	アゴナガヨコエビ属
		3	アリアケドロクダムシ
		4	ウミモワレカラ
		5	オオサカドロソコエビ
		6	オオワレカラ
		7	カマキリヨコエビ属
		8	カマデワレカラ
		9	シミズメリタヨコエビ
		10	トゲワレカラ
		11	トンガリドロクダムシ
		12	ナガタメリタヨコエビ
		13	ニッポンモバヨコエビ
		14	ニホンドロクダムシ
		15	ニホンドロソコエビ
		16	ヒゲツノメリタヨコエビ
		17	ヒゲナガヨコエビ属
		18	ヒゲナガヨコエビ科
		19	ヒメハマトビムシ
		20	フサゲモクス
		21	フトメリタヨコエビ
		22	ボシェットゲオヨコエビ
		23	マルエラワレカラ
		24	マルソコエビ科
		25	モズミヨコエビ
		26	ヨコエビ類
		27	ワレカラ科
フジツボ類		1	アメリカフジツボ
		2	イワフジツボ
		3	カメノテ
		4	クロフジツボ
		5	サンカクフジツボ
		6	シロスジフジツボ
		7	タデジマフジツボ
分類 群		No.	和 名
フジツボ類(続き)		8	タロクヒラフジツボ
		9	ドロフジツボ
		10	ムツアナヒラフジツボ
		11	ヨーロッパフジツボ
		12	ヨモロップフジツボ
ヤドカリ類		1	イザナミツノヤドカリ
		2	イソカニダマシ
		3	イソカニダマシ属
		4	ケアシホンヤドカリ
		5	ケブカヒメヨコバサミ
		6	コブカニダマシ
		7	コブヨコバサミ
		8	テナガツノヤドカリ
		9	ヒラトゲガニ
		10	ホンヤドカリ
		11	ユビナガホンヤドカリ
		12	ヨモギホンヤドカリ
カニ類		1	アカテガニ
		2	アシハラガニ
		3	イシガニ
		4	イソガニ
		5	イッカククモガニ
		6	イボイチョウガニ
		7	オウギガニ
		8	オサガニ
		9	カクベンケイガニ
		10	ガザミ
		11	カネコブシ
		12	クロベンケイガニ
		13	ケフサイソガニ
		14	シオマネキ
		15	シワオウギガニ
		16	スナガニ
		17	スナガニ属
		18	スネナガイソガニ
		19	タイワンガザミ
		20	タカノケフサイソガニ
		21	チチュウカイミドリガニ
		22	ハクセンシオマネキ
		23	ハマガニ
		24	ヒメアカイソガニ
		25	ヒメアシハラガニ
		26	ヒメベンケイガニ
		27	ヒメヤマトオサガニ
		28	ヒライソガニ
		29	ヒライソガニ属
		30	マキトラノオガニ
		31	マメコブシガニ
		32	モクズガニ
		33	ヤマトオサガニ
		34	ワタズガニ
魚類		1	アイナメ
		2	オオタナゴ
		3	アカエイ
		4	アカオビシマハゼ
		5	アゴハゼ
		6	アサヒアナハゼ
		7	アナハゼ
		8	アベハゼ
		9	アミメハギ
		10	アユ
		11	イシガレイ
		12	インギンボ
		13	ウキゴリ
		14	ウキゴリ属
		15	ウナギ
		16	ウミタナゴ
		17	ウロハゼ
		18	オオカズナギ
		19	オクヨウジ
		20	オニオコゼ
		21	カゴカキダイ
		22	カサゴ
		23	カワアナゴ
		24	カワムツ
		25	キチヌ
		26	キュウセン
		27	ギンボ
		28	クサフグ
		29	クジメ
		30	クロサギ科
		31	クロソイ
		32	クロダイ

水色セル: 種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。
草色セル: 淡水産種で種数計数からは除いた。

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。

草色セル:淡水産種で種数計数からは除いた。

表1(4) 出現種一覧(平成26年度)

分 類 群	No.	和 名	分 類 群	No.	和 名		
魚 類 (続き)	33	コトヒキ	鳥 類 (続き)	11	キアシシギ		
	34	コモンフグ		12	キシバト		
	35	サラサカジカ		13	コアシサシ		
	36	シマイサキ		14	コサギ		
	37	シロメバル		15	シロチドリ		
	38	スジハゼ		16	スズメ		
	39	スズキ		17	セキレイ属		
	40	セスジボラ		18	セッカ		
	41	ダイナンギンボ		19	ソリハシシギ		
	42	タカハヤ		20	ダイサギ		
	43	タケギンボ		21	チュウシャクシギ		
	44	チチブ		22	ツバメ		
	45	トウゴロウイワシ		23	ドバト		
	46	トビウオ		24	ハクセキレイ		
	47	トラフグ属		25	ハシブトガラス		
	48	ドロメ		26	ハシボソガラス		
	49	ナベカ		27	ヒバリ		
	50	ヒイラギ		28	ヒヨドリ		
	51	ヒメハゼ		29	ミサゴ		
	52	ヒラメ		30	ムクドリ		
	53	フグ科		31	メジロ		
	54	ヘビギンボ		その他	カイメン類	1	イソカイメン科
	55	ボラ				2	イソカイメン属
	56	ボラ科				3	クロイソカイメン
	57	マコガレイ				4	ダイダイイソカイメン
	58	マゴチ				5	ナミイソカイメン
	59	マハゼ				6	普通海綿綱
	60	ミミズハゼ属			クラゲ類	7	アカクラゲ
	61	ムスジガシ				8	カキノテクラゲ
	62	メジナ				9	カミクラゲ
	63	メジナ属				10	ミズクラゲ
	64	メバル属	ヒドロ虫類		11	ヒドロ虫綱	
	65	ヨウジウオ			12	ウミサカツキガヤ科	
	66	ヨウジウオ科			13	ウミシバ科	
	67	ホンベラ	イソギンチャク類		14	Anthopleura属	
	68	マダイ			15	タテジマイソギンチャク	
	爬虫類	1			クサガメ	16	チグレイソギンチャク
		2			ニホンカナヘビ	17	ヒメイソギンチャク
		3			ニホンツカゲ	18	ベリルイソギンチャク
		4			ミシシッピアカミミガメ	19	ヨロイイソギンチャク
	昆 虫 類	1	アオスジアゲハ		ヒラムシ類	20	ウスヒラムシ
		2	アオモンイトトンボ			21	オオツノヒラムシ
		3	アカタテハ幼虫			22	スチロヒラムシ科
		4	アブ類サナギ			23	ツノヒラムシ
		5	アブ類幼虫			24	ツノヒラムシ科
		6	アリ科			25	ヒラムシ類
		7	イラガ			26	ミノヒラムシ
		8	ウミベアカバハネカクシ			27	モヨウマルヒラムシ
		9	ウリハムシ		ヒモムシ類	28	ヒモムシ類
		10	カメムシ類			29	スズメガイダマシ
		11	ガ類		コケムシ類	30	サラコケムシ科
		12	キチョウ	31		チゴケムシ	
		13	キリギリス	32		フサコケムシ	
		14	クサカゲロウ	33		ホソフサコケムシ	
		15	コアオハナムグリ	34		モングチコケムシ	
		16	ゴキブリ類	陸棲巻き貝類	35	オナジマイマイ	
		17	シオカラトンボ		頭足類	36	ヒメイカ
		18	シャクガ類幼虫			37	マダコ
		19	スズバチ類	ユムシ類	38	ユムシ類	
		20	スズメガ科幼虫		39	ミミズ類	
		21	セセリチョウ類	貧毛類	40	ヒル類	
		22	セマダラコガネ		クモ類	41	オニグモ
		23	ツノロウムシ			42	クサグモ類
		24	ツバメシジミ			43	コガネグモ
		25	トビムシ類			44	ナガコガネグモ
		26	ナナホシテントウ			45	ネコハエトリ類
		27	ナミテントウ			46	ハエトリグモ科
		28	ハマベハサミムシ			47	ワカバグモ類
29		ハムシ類	48			ウミグモ綱	
30		ヒラタアブ類	ウミグモ類			49	ウミボタル
31		ヒロヘリアオイラガ	貝形虫類	50	ウンモンフクロムシ		
32		ベニシジミ		フクロムシ類		51	コノハエビ
33		モンキチョウ	等脚類	52	イソコツブムシ属		
34		ヤマトシジミ(昆虫)		53	エビヤドリムシ科		
35		ヨモギハムシ		54	コツブムシ科		
鳥 類		1		アオサギ	55	ダンゴムシ類	
		2		イソシギ	56	ハマワラジムシ属	
		3		ウグイス	57	フナムシ	
		4		ウミネコ	58	フナムシ属	
		5		オオソリハシシギ	59	ヨツバコツブムシ	
		6		オオヨシキリ			
		7		カモ科			
	8	カルガモ					
	9	カワウ					
	10	カワラヒワ					

水色セル: 種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。
草色セル: 淡水産種で種数計数から除いた。

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。
 草色セル:淡水産種で種数計数からは除いた。

表 1 (5) 出現種一覧（平成 26 年度）

分 類 群	No.	和 名
その他 (続き)	タナイス類	60 キスイタナイス種群
	エビ類	61 アシナガスジエビ
		62 インテッポウエビ種群
		63 イソモエビ
		64 エビジャコ類
		65 カワリヌマエビ属
		66 サラサエビ
		67 スジエビ
		68 スジエビモドキ
		69 スジエビ属
		70 セジロムラサキエビ
		71 テッポウエビ
		72 テナガエビ
		73 ホソモエビ
		74 ユビナガスジエビ
		75 ヨシエビ
	アナジャコ類	76 スナモグリ
		77 スナモグリ類
		78 ハサミシャコエビ
	ムカデ類	79 ジムカデ類
	ウミシダ類	80 ニッポンウミシダ
	ヒトデ類	81 イトマキヒトデ
		82 キヒトデ
		83 テビイトマキヒトデ
		84 トゲモミシガイ
		85 スノメイトマキヒトデ
		86 ヤツデヒトデ
	クモヒトデ類	87 ナガトゲクモヒトデ
	ウニ類	88 ハスノハカシバン
		89 バフンウニ
		90 ムラサキウニ
	ナマコ類	91 イカリナマコ科
		92 イシコ
		93 ヒモイカリナマコ
		94 マナマコ
	ホヤ類	95 アスキジア科
		96 イタボヤ
		97 イタボヤ科
		98 ウスボヤ属
		99 ウスボヤ科
		100 エボヤ
		101 カタユウレイボヤ
		102 シロウスボヤ
		103 シロボヤ
		104 フタスジボヤ
		105 マンジュウボヤ
		106 マンハッタンボヤ
		107 ミハエルボヤ
	ナメクジウオ類	108 ヒガシナメクジウオ

水色セル: 種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。

草色セル: 淡水産種で種数計数からは除いた。

3. リスト掲載種の出現状況

3-1. 平成 26 年度結果

リスト掲載種の調査箇所別出現状況を表 2 に示しました。

なお、一連の環境で行われた近傍の地点は、出現頻度の過大評価を避けるため統合しました。

表2 リスト掲載種の調査箇所別出現状況（平成 26 年度）

分類群		No.	和名/地点	地点No.																									合計
				1 ア ジ ュ ー ル 舞 子	2 番 樫 園 浜	3 甲 子 園 浜 海 浜 公 園	4 矢 倉 海 岸	5 十 三 千 湯 （ 淀 川 ）	7 高 師 浜	8 大 津 川 河 口 （ 左 岸 ）	9 阪 南 二 区 造 成 干 潟	10 近 木 川 河 口	12 櫻 井 川 河 口 （ 岡 田 浦 海 岸 ）	13 男 里 川 河 口 干 潟	14 せ ん な ん 里 海 公 園	15 東 川 （ 落 合 川 ） 河 口	17 堺 2 区 生 物 共 生 型 護 岸 （ 友 海 ビ ー チ ）	19 住 吉 川 河 口	20 天 保 山	21 須 磨 海 岸	22 豊 国 崎	23 長 松 海 岸	24 堺 浜 自 然 再 生 ふ れ あ い ビ ー チ	25 尾 崎 海 岸	出現 頻 度 （ 2 1 地 点 ）				
海藻類	緑藻類	1	アナアオサ	●			●		●		●	●	●		●	●		●		●	●	●		●		13			
		2	スジアオノリ				●	●				●	●			●	●									6			
	紅藻類	3	オゴノリ									●	●			●									●	4			
植物		1	オカヒジキ	●		●				●									●						●	5			
		2	コウボウムギ	●		●	●												●							4			
		3	ハマウド				●						●								●				●	4			
		4	ハマゴウ		●	●	●					●							●							6			
		5	ハマダイコン			●	●												●	●						4			
		6	ハマボウフウ	●	●	●						●	●						●							6			
貝類	巻き貝類	1	アラレタマキビガイ	●	●	●			●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	18			
		2	イシマキガイ		●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●							9			
		3	イボニシ	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	17			
		4	タマキビガイ	●	●	●			●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				14			
		5	フレイトゲアメフラシ																							0			
	二枚貝類	6	アサリ	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●		●		●	15			
		7	ウスカラシオツガイ		●	●			●										●	●						5			
		8	ウネナシトマヤガイ		●	●	●		●	●					●											6			
		9	クチバガイ	●	●	●					●	●	●	●	●	●	●									10			
		10	ケガキ	●						●	●	●	●	●	●	●	●			●	●				●	11			
		11	コウロエンカワヒバリガイ		●	●	●	●	●	●		●		●				●	●	●	●			●		12			
		12	マガキ		●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●			16			
		13	ムラサキイガイ		●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						12			
フジツボ類	1	アカフジツボ										●					●	●	●						0				
	2	アメリカフジツボ		●	●	●		●			●						●	●	●						8				
	3	クロフジツボ	●								●								●	●	●		●		6				
	4	シロスジフジツボ				●			●			●	●	●	●	●	●	●	●						9				
	5	タデジマフジツボ			●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●			14				
	6	ドロフジツボ				●	●					●					●	●							5				
	7	ヨーロッパフジツボ			●	●	●					●					●	●	●			●			8				
ヤドカリ類	1	ホンヤドカリ	●							●				●											6				
	2	ユビナガホンヤドカリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	19				
カニ類	1	アカテガニ				●						●													2				
	2	アシハラガニ				●	●					●			●										5				
	3	イソガニ	●		●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●				13				
	4	オウギガニ																			●	●			2				
	5	クロベンケイガニ				●	●																		2				
	6	ケフサイソガニ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	16				
	7	スナガニ	●								●		●												3				
	8	タカノケフサイソガニ		●	●	●			●	●	●	●	●	●		●	●	●	●			●			13				
	9	チチュウカイミドリガニ		●	●	●		●								●	●								7				
	10	ハクセンシオマネキ		●	●				●	●	●	●	●	●		●									7				
	11	ヒライソガニ	●		●				●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●				13				
	12	ヤマトオサガニ				●	●		●				●		●										5				
その他	1	多毛類	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	21				
	2	ヨコエビ類	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	20				
種類数（●の数）			17	19	25	25	10	16	19	16	26	27	19	15	22	13	21	11	17	12	12	7	11		41				

注: 1) ●: 種まで同定されたもの □: 種まで同定されていないもの(種数に含めない)

2) 種名は各分類群中で五十音順。

リスト掲載種の出現頻度を河口、内湾、外海等の生態型とともに整理し、図 3 に示しました。各種の生態型については、大阪湾生き物一斉調査解説ブック、第 24 回 淀川環境委員会 4.汽水域環境部会 汽水域生物環境評価WG報告の「分析対象種と類型」及び各種図鑑等に記載されている生態を参考に分類しました。

全体に河口～内湾型もしくは内湾～外海型の種の出現頻度が高く、ユビナガホンヤドカリは 21 地点中 19 地点で、アラレタマキビガイは 18 地点で確認されました。河口型の生物ではケフサイソガニが 16 地点で、外海型の生物ではケガキが 11 地点で確認されました。

なお、今年度は調査シートに掲載された 37 種のうち、アカフジツボ及びフレリトゲアメフラシを除く 35 種がいずれかの地点で確認されました。

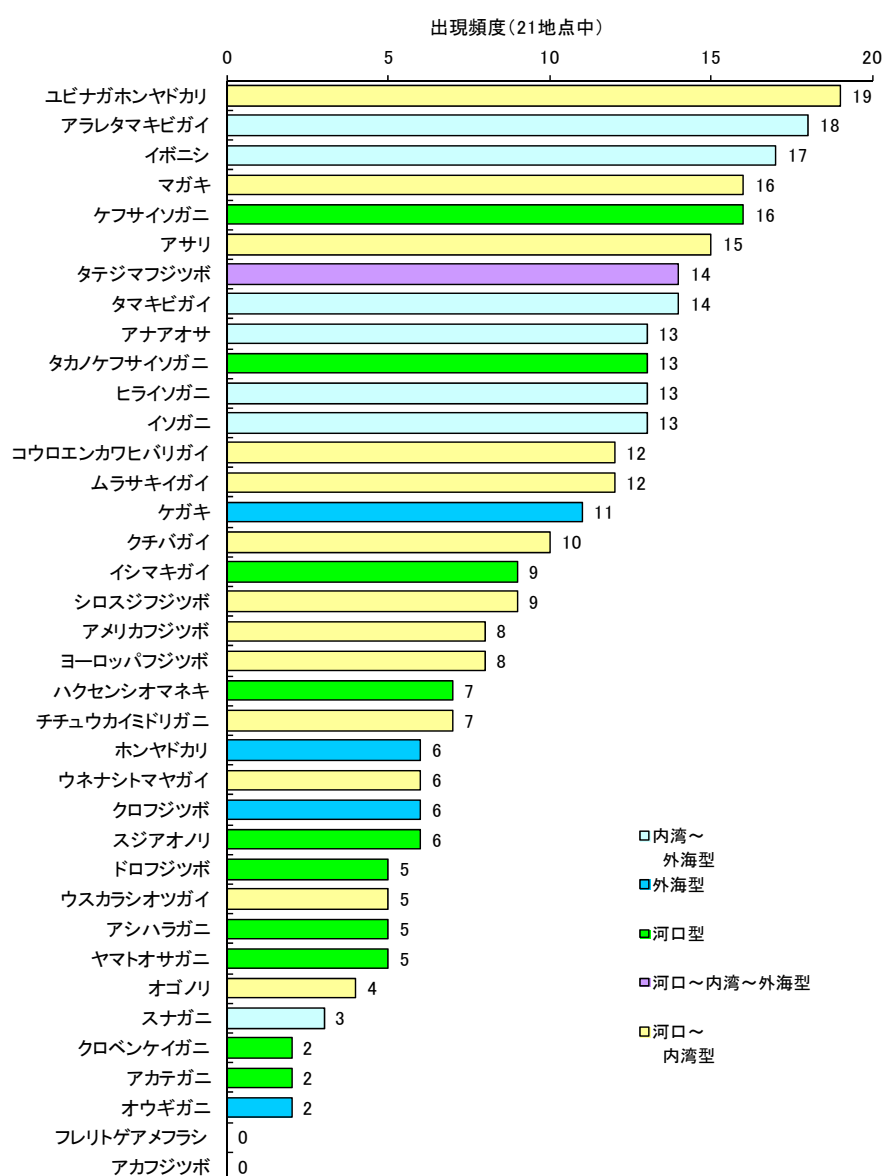
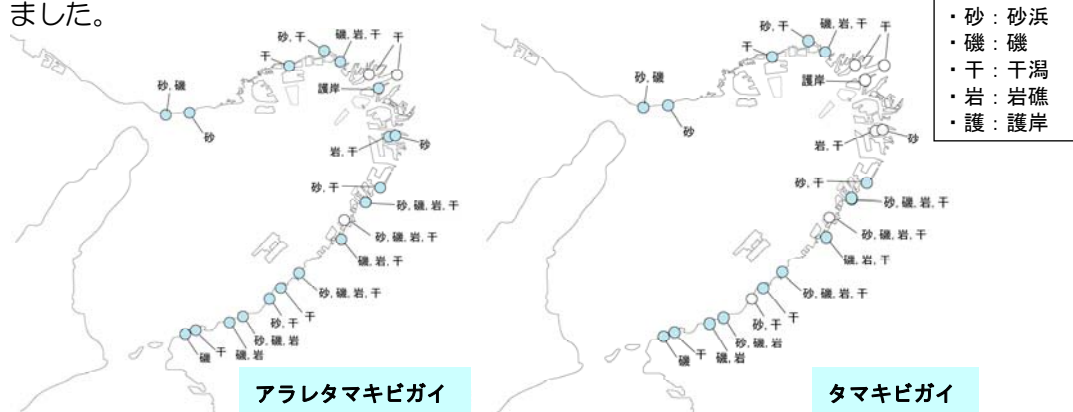


図 3 リスト掲載種の生態型と出現頻度（平成 26 年度）

リスト掲載種を中心に、大阪湾の代表的な種の分布を図 4(1)～(4)に示しました。

貝類・ヤドカリ類

- アラレタマキビガイ、タマキビガイは内湾～外海型であり、アラレタマキビガイは高潮帯の波しぶきの当たる所を好みますが、本年は静穏な湾奥まで広域で出現しました。タマキビガイは潮間帯に普通にみられ、河川内・河口の一部を除くほぼ全域で出現しました。



- 外海型のケガキは湾中間域より湾奥では出現せず、これに対し河口～内湾型のマガキはほぼ全域で出現しました。



- 海型のホンヤドカリは、須磨一阪南2区ラインより湾口側で出現しました。これに対し、河口～内湾型のユビナガホンヤドカリは一部ホンヤドカリと重複し、湾内のほぼ全域で出現しました。

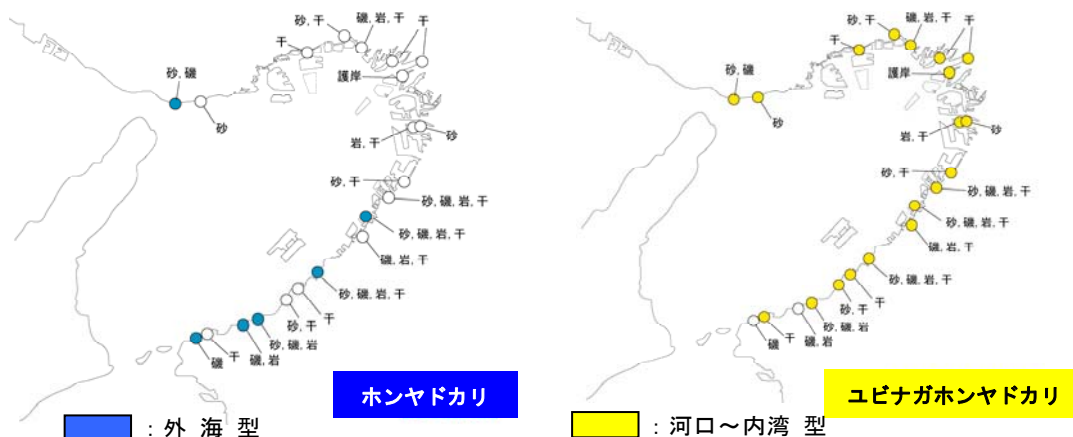
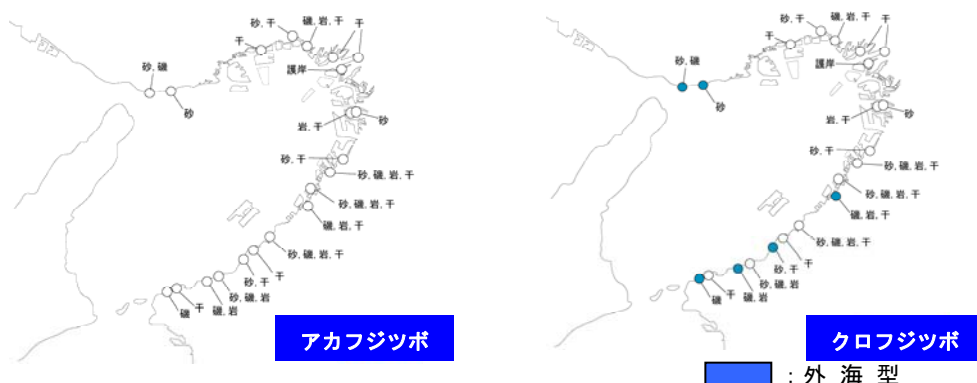


図 4(1) 代表的な種の分布（貝類、ヤドカリ類）—平成 26 年度

フジツボ類

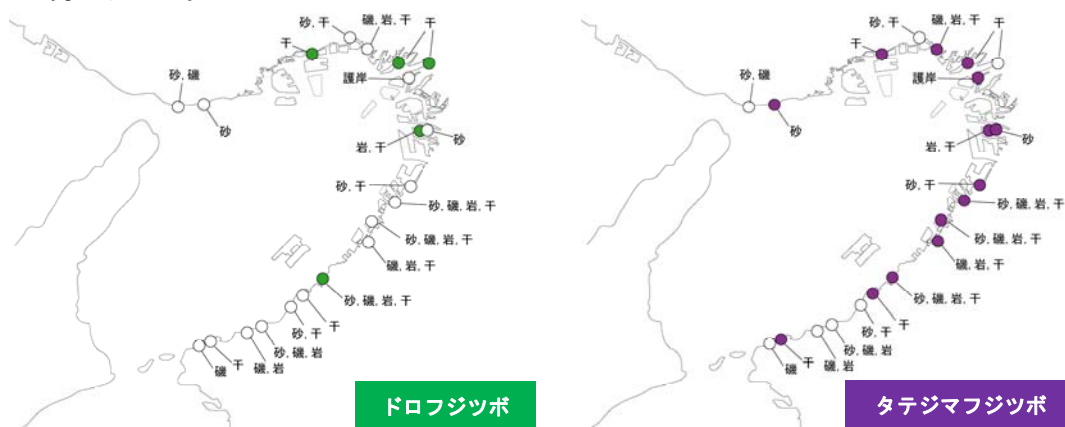
- 外海型のクロフジツボは、須磨―近木川ラインより湾口側で出現し、同型のアカフジツボは今年確認されませんでした。



- 河口～内湾型のシロスジフジツボは湾奥及び一部を除く湾全域で出現し、同型のアメリカフジツボとヨーロッパフジツボは湾奥～湾中間域一帯で出現しました。



- 河口型のドロフジツボは湾中間域～湾奥で淡水の影響の強い河口付近の地点で出現しました。一方、広域型のタテジマフジツボは湾口側の地点を除く湾内のほぼ全域で出現しました。



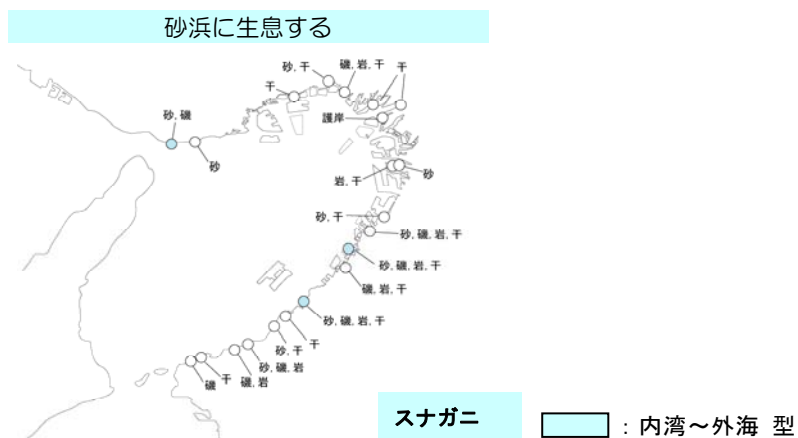
■ : 河口型 ■ : 河口～内湾～外海型

- なお、アカフジツボやドロフジツボは主に潮下帯に付着することから、観察される機会が少なかったことも考えられます。

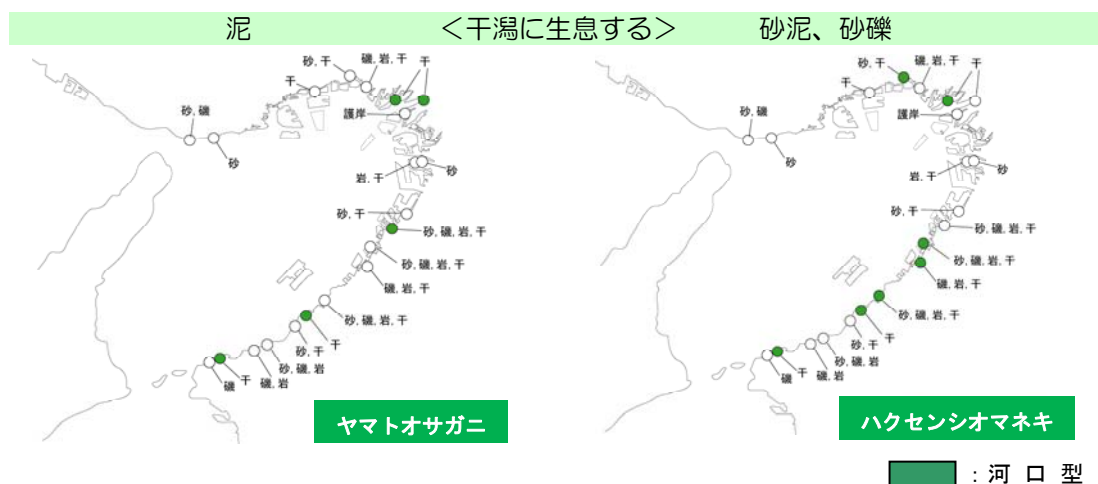
図4(2) 代表的な種の分布（フジツボ類）―平成26年度

カニ類

- 砂浜に生息するスナガニが確認されたのは、兵庫県側の1地点と大阪府側の2地点の計3地点でした。



- 泥干潟に生息するヤマトオサガニは矢倉干潟・十三干潟・大津川・男里川・東川などの河口泥質干潟のある地点で出現し、砂礫性のハクセンシオマネキはそれ以外の地点でも出現しました。



- アシハラガニやクロベンケイガニ、アカテガニも河口のある地点等で出現しました。



図4(3) 代表的な種の分布(カニ類)ー平成26年度

河口型

外来種

- ミドリイガイは甲子園浜と天保山の2地点で確認されました。ミドリイガイは主に潮下帯に着生し、潮間帯の観察では見つけにくいため、出現地点は年により変わっています。

□ : 内湾～外海 型

- ムラサキイガイは湾奥～湾口まで広域で確認されました。

□ : 河口～内湾 型

- コウロエンカワヒバリガイは湾中間域～湾奥で、チチュウカイミドリガニは湾奥の地点で出現しました。

□ : 河口～内湾 型

□ : コウロエンカワヒバリガイ

□ : チチュウカイミドリガニ

- 河口型のイガイダマシは高師浜と塩分の低い矢倉干潟で、ウスカラシオツガイは湾奥～湾中間域の限定された地点で出現しました。カニヤドリカンザシゴカイは確認されませんでした。

□ : イガイダマシ

□ : ウスカラシオツガイ

□ : 河口型 □ : 河口～内湾 型

- これら外来種の分布はムラサキイガイを除き、湾中間域～湾奥で多い傾向がみられました。

図4(4) 代表的な種の分布(外来種)ー平成26年度

3-2. 過年度との比較

リスト掲載種について、平成 20～25 年度調査結果と併せて整理し、表 3 に示しました。

平成 20 年度のリスト掲載種は 41 種でしたが、出現状況を踏まえ、平成 21 年度以降は一部の種の入替えや追加を行い、43 種（多毛類、ヨコエビ類含まず）を調査シートに掲載して実施しました。また、各調査地点の調査場所については、団体によっては調査海岸を変更したり、同一地点内で調査範囲を変更している場合がみられ、調査人数にも違いがあります。

このため、7 ヶ年の出現状況を単純に比較することはできませんが、経年的にほぼ同一場所で調査されているとみられる調査地点同士についてみると、おおむね種数は近似しており、同様の種が確認されている場合が多くなっていました。

表3(2) リスト掲載種の地点別出現状況(平成20~26年)

[illegible]

注; 1) ●: 種まで同定されたもの。 □: 種まで同定されていないもの(種数に含めない)。出現頻度欄の“-”は対象外を示す。

2) 種名は各生物群中で五十音順。

3) 平成20年度のリスト掲載種で出現せず、21年度ではリストから削除したヒトエグサ、ホンビノスガイ及びミナトウギナオおよび、21年度にリストに追加したが確認されず22年にリストから削除したサキグロタマツメタの計4種については省略した。

4)平成22年度の近木川河口については、両岸・左岸合体見直しで、クチバガイとヒライソガニが追加され、24種となった。

5) 大津川河口については、平成22年度までは右岸干潟で実施したが、23年度以降は通行不可のため右岸で実施した。津田川河口と茶屋川河口は平成20年、海老江干潟は平成21年のそれぞれ1回のみのため、本経年表では省略した。

6) 平成26年度は地点No.25尾崎海岸の1箇所を追加した。

付表 貴重種の出現状況一覧（平成 26 年度）

分類群		種 名	兵庫県 RDB 1)	大阪府 RDB 2)	環境省 2012年度版RL 3)	水産庁RDB 1998年 4)	WWF 干潟RDB 5)	干潟の絶滅危惧 動物図鑑 6)	
海藻類	緑藻類	1 スジアオノリ				減少傾向			
	紅藻類	2 タニコケモドキ	(絶滅危惧Ⅱ類)		準絶滅危惧				
		3 ホソアヤギス	(絶滅危惧Ⅱ類)		準絶滅危惧	準絶滅危惧			
植物(シート記載種のみ)		1 コウボウムギ		絶滅危惧Ⅱ類					
		2 ハマゴウ		絶滅危惧Ⅱ類					
		3 ハマボクフウ		絶滅危惧Ⅰ類					
貝類	巻き貝類	1 アカニシ				減少	危険		
		2 イシマキガイ				減少			
		3 イナザワハバガイ	(絶滅危惧Ⅱ類)						
		4 イボウミナ	(絶滅危惧Ⅰ類)	情報不足	絶滅危惧Ⅱ類		絶滅寸前	絶滅危惧Ⅱ類	
		5 ウミナメクジ		情報不足			危険		
		6 ウミミナ		準絶滅危惧	準絶滅危惧	減少傾向	危険	準絶滅危惧	
		7 カキウラクチキレモドキ		絶滅危惧Ⅱ類			危険		
		8 カワグチツボ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	
		9 カワザンショウガイ		準絶滅危惧					
		10 クサズリクチキレガイ		準絶滅危惧					
		11 クチキレガイ		情報不足					
		12 クリイロカワザンショウ属	(絶滅危惧Ⅱ類)						
		13 シボリガイ(ヒメコザラ)		準絶滅危惧					
		14 ナギツボ	(絶滅危惧Ⅰ類)		準絶滅危惧			準絶滅危惧	
		15 ヒナユキスズメ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	
		16 ヒラカワザンショウガイ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧					
		17 フトヘナタリ		準絶滅危惧	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	
		18 ホソウミナ		絶滅危惧Ⅰ類					
		19 マルウスズラタマキガイ					危険		
		20 ミヤコドリガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	
		21 ヨコイトカケリ		情報不足			危険		
		22 ヨコスジギリガイ		準絶滅危惧					
	二枚貝類	1 イワガキ				減少傾向			
		2 ウネナントマヤガイ			準絶滅危惧		危険		
		3 カガミガイ		準絶滅危惧					
		4 クチバガイ			準絶滅危惧				
		5 ソトオリガイ		準絶滅危惧			危険		
		6 ニッポンマメアゲマキガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)		準絶滅危惧			準絶滅危惧	
		7 バカガイ		準絶滅危惧					
		8 ハナグモリガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)		絶滅危惧Ⅱ類		危険	絶滅危惧Ⅱ類	
		9 ヒメアサリ		準絶滅危惧					
		10 マツカセガイ		準絶滅危惧					
		11 マテガイ	要注目	準絶滅危惧					
		12 ヤマトシジミ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧	準絶滅危惧			準絶滅危惧	
		13 ユウシオガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	
多毛類	1 カワゴカイ属	(準絶滅危惧)							
	2 コケゴカイ	(準絶滅危惧)							
	3 タマシキゴカイ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧						
ヨコエビ・ワレカラ類		1 オオサドロソコエビ		絶滅危惧Ⅰ類			準絶滅危惧		
		2 ニホンドロクダムシ		準絶滅危惧					
ヤドカリ類		1 テナガツノヤドカリ					準絶滅危惧		
		2 ヨモギホンヤドカリ					準絶滅危惧		
カニ類	1 アカテガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)							
	2 アシハラガニ	(準絶滅危惧)							
	3 オサガニ	(絶滅危惧Ⅰ類)	準絶滅危惧				準絶滅危惧		
	4 カネコブシ		準絶滅危惧						
	5 クロベンケイガニ	(準絶滅危惧)							
	6 シオマネキ		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	希少	危険	絶滅危惧Ⅱ類		
	7 スナガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧						
	8 スネナガイソガニ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧			希少	準絶滅危惧		
	9 ハクセンシオマネキ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類		危険	準絶滅危惧		
	10 ハマガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)					準絶滅危惧		
	11 ヒメアシハラガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧				準絶滅危惧		
	12 ヒメヤマトオサガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧				準絶滅危惧		
	13 マキトラノオガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧			希少			
	14 マメコブシガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧				準絶滅危惧		
	15 モクズガニ				減少傾向				
	16 ヤマトオサガニ	(準絶滅危惧)							
魚類	1 アユ		準絶滅危惧						
	2 ウキゴリ	(情報不足)	準絶滅危惧						
	3 ウナギ(ニホンウナギ)*1)		絶滅危惧Ⅱ類*1)	絶滅危惧ⅠB類*1)					
	4 カワアナゴ	(絶滅危惧Ⅰ類)							
	5 テチブ	(情報不足)							
その他	頭足類	1 ヒメイカ		絶滅危惧Ⅱ類		減少			
	等脚類	2 ヨソバツブムシ		準絶滅危惧					
	エビ類	3 テップウエビ	(準絶滅危惧)						
	アナジャコ類	4 ハサミジャコエビ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧					
	ウニ類	5 ハスノハカシバン	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧					
	ナマコ類	6 ヒメイカリナマコ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧			危険		
	ナメクジウオ類	7 ヒガシナメクジウオ *2)	(絶滅危惧Ⅱ類)			危急 *3)	危険 *3)	準絶滅危惧	

注) 1) 兵庫県版レッドリスト2014(貝類・その他無脊椎動物)、レッドリスト2010(植物・植物群落)と兵庫県版レッドデータブック2003(魚類)による。
()は兵庫県評価を「改訂・日本版レッドデータブック」の相当カテゴリーに置換したもの。

2) 大阪府レッドリスト2014による。

3) 環境省 2012年度版レッドリスト。

4) 水産庁 1998 日本希少な野生水生生物に関するデータブック 社団法人日本水産資源保護協会 437pp.東京。

5) WWF Japan Science Report vol.3,1996。

評価「普通」は省略した。

6) 日本ベントス学会編 2012. 干潟の絶滅危惧動物図鑑-海岸ベントスのレッドデータブック- 東海大学出版会 神奈川県 285pp.

7) 貴重種選定にあたり、基本的に水生動物種を対象とし、陸上植物は本調査の調査シート掲載種に限定した。

8) 各評価の区分と定数値は下記による。特に区別の記載のない区分は環境省に準ずる。

絶滅危惧Ⅰ類: 現在の状態をもちた圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。

絶滅危惧Ⅱ類: 現在の状態をもちた圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。

準絶滅危惧: 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧Ⅰ類」として上位ランクに移行する要素を有するもの。

情報不足: 評価するだけの情報が不足している種。

要注目種(兵庫): 最近減少の著しい種、優れた自然環境の指標となる種などの貴重種に準ずる種。

要調査種(兵庫): 改訂・日本版レッドデータブックの情報不足に相当。

減少目録(大阪): 「絶滅」「絶滅危惧」「準絶滅危惧」「情報不足」の区分以外で大阪府において保護上重要なもの。

減少傾向(水産庁): 長期的に減少しつつあるもの。

減少(水産庁): 明らかに減少しているもの。

希少(水産庁): 存続基盤が脆弱な種・亜種。

危急(水産庁): 絶滅の危険が増大している種・亜種(環境省に準ずる)。

危険(WWF): 絶滅に向けて進行しているとみなされる種。今すぐ絶滅という危機に瀕するということはないが、現状では確実に絶滅の方向へ向かっていると判断されるもの。

希少(WWF): 特に絶滅を危惧されることはないが、もと々個体数が非常に少ない種。

普通/希少(WWF): 地域により状況が異なる。

9) 表中明記は、今年度初確認の貴重種を示す。

10) 貴重種記載資料の該当市町村の場所に出現していない場合もある。

■平成26年度初確認の貴重種(表中明記)

タニコケモドキ: 海藻類(紅藻類)

イボウミナ: 貝類(巻貝類)

クチキレガイ: 貝類(巻貝類)

ヨコスジギリガイ: 貝類(巻貝類)

ニッポンマメアゲマキガイ: 貝類(二枚貝類)

ハナグモリガイ: 貝類(二枚貝類)

テナガツノヤドカリ: ヤドカリ類

ヒメアシハラガニ: カニ類

ウキゴリ: 魚類

*1) 環境省2012、大阪府2014リストともニホンウナギで有効。

*2) ヒガシナメクジウオは種名としては新規となるが、従来のナメクジウオ(日本産)と同じもので、名前が変更されただけなので、初確認からは除いた。

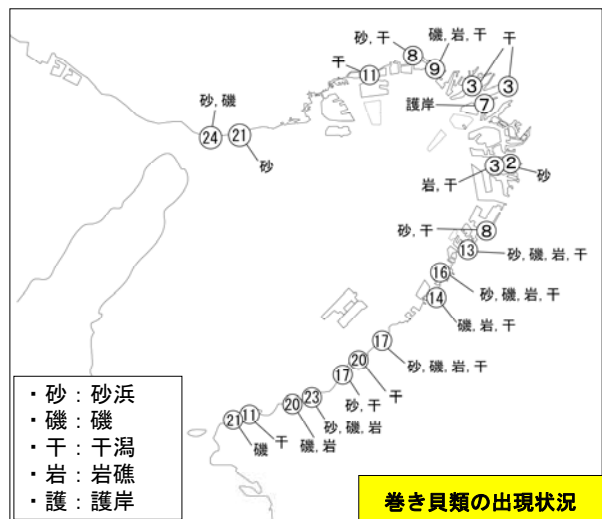
*3) ナメクジウオで記載されている。

調査テーマ「巻き貝」の結果

巻き貝の出現種数を図 5 に示します。すべての地点で巻き貝が確認されています。アジュール舞子が最も多く 24 種類が確認されました。

また、ウミニナ、ホソウミニナ、イボウミニナ、フトヘナタリの確認状況を図 6 に示します。

ウミニナは 21 地点中 7 地点、ホソウミニナは 2 地点、イボウミニナは 1 地点、フトヘナタリは 2 地点で確認されました。



注) ○印の中の数字が巻き貝類の出現種数である。

図 5 巻き貝の出現状況（平成 26 年度）

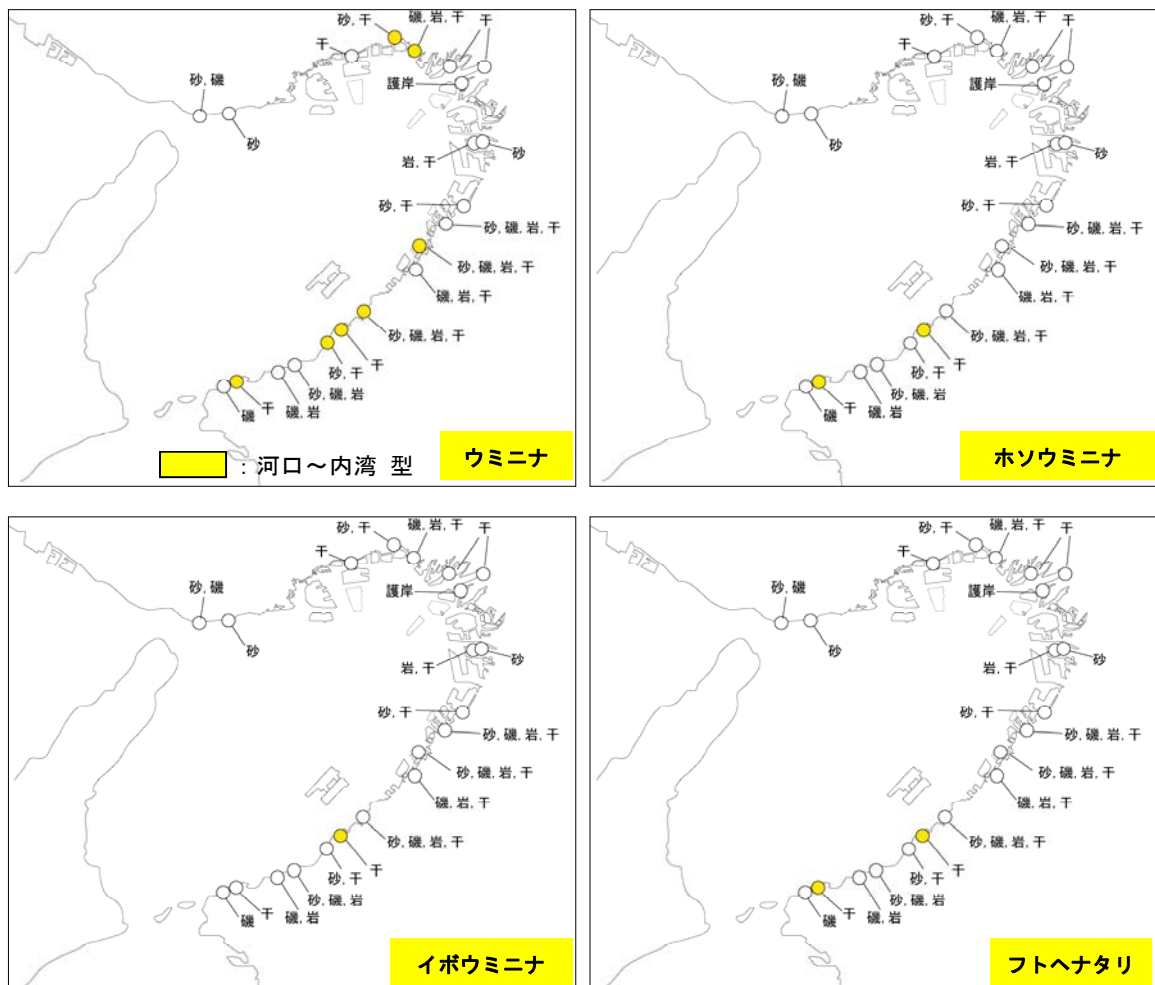


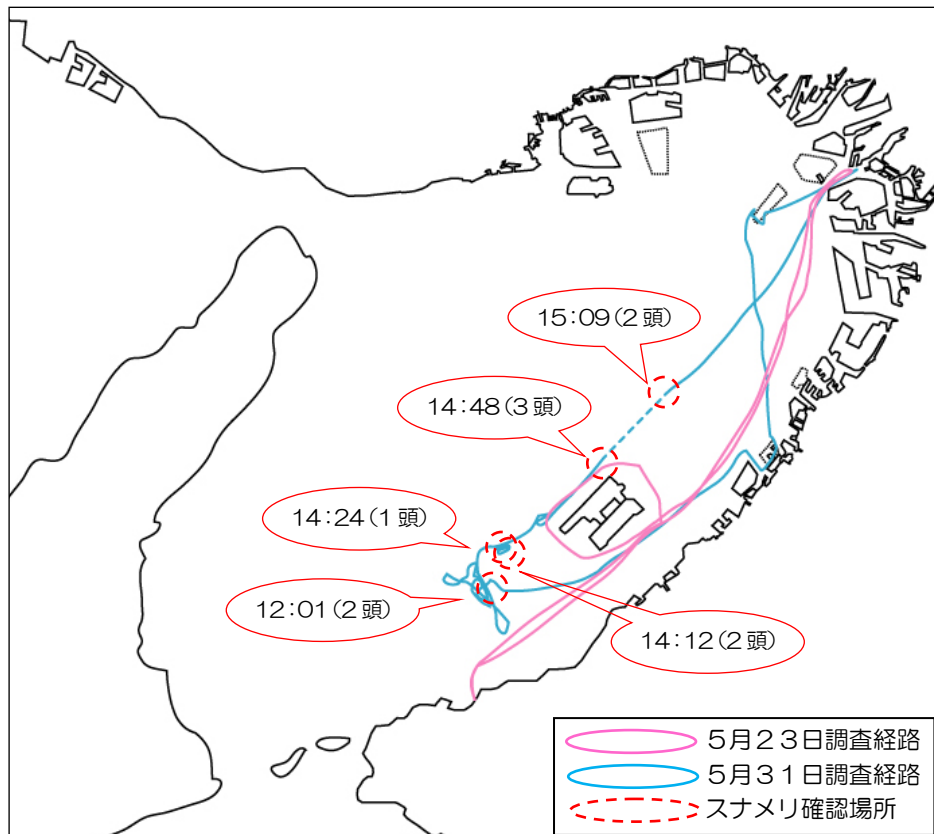
図 6 ウミニナ等の出現状況（平成 26 年度）

スナメリ調査

5月23日及び31日に下図の経路で調査を実施しました。

5月23日の調査ではスナメリを確認できませんでしたが、5月31日の調査ではおよそ阪南市沖から岸和田市沖にかけて5群10頭を確認しました。

かつて瀬戸内海には多くのスナメリが生息していましたが、現在ではほとんど目にするものがなくなりました。

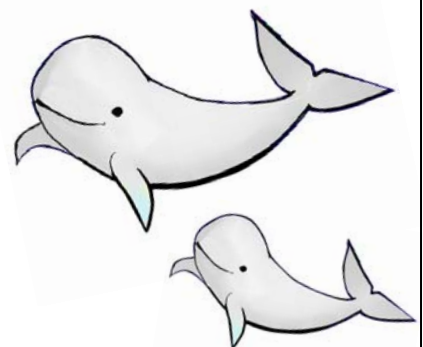


【スナメリとは？】

水産庁のレッドデータブックに掲載されています。

- 英名：Finless porpoise
- 学名： *Neophocaena asiaeorientalis*
- 地方名：ナメ・ナメソ など
- 分類：クジラ目ハクジラ亜目 ネズミイルカ科
- 体長：最大2m程度
- 大阪湾におけるスナメリの生態的位置づけ：

スナメリの生息は健全な沿岸生態系のひとつの指標



スナメリ